ひずみゲージの貼付，試験機への取り付け，ソフト設定

2021/10/15

**貼り付け**

1. 白いペンで位置の目安を置く
2. 貼り付ける部分をサンドペーパーで削る(最初は180番から)
3. 鉛筆で貼り付ける部分に目安の線を描く．

ひずみゲージに目安となる金色の印があるのでそれに合わせた線にする．

(ここに目安とかの画像を貼る)

1. 接着剤(大体CC-33A)を準備する．
2. ひずみゲージの裏面に接着剤をつけて1分間透明のシートで押し付ける．  
   (押し付け開始10秒程度は移動可能)
3. 導線が剥がれやすいのでテープなどで固定しておく

**取り付け等**

1. PCを2台共起動し，Wave LoggerとTRAPEZIUMXを起動する．
2. Wave Loggerの上のバーの「収集」から「本体接続確認」を選択．ポップアップが出てくるので「ゼロ点調整」を選択．「実行」を押すと「ユニットをすべて外して…」のポップアップが出てくるので，カラフルな配線を外して「はい」を押す．終了後配線を戻す．
3. 配線をつなぐ
4. TRAPEZIUMXの「ハードウェア→ハードウェアの設定」の右側のタブを選択し，「アナログ出力」を押す．試験の荷重とストロークに合わせてフルスケールを設定する．
5. 「収集設定」を押し，

* 「NA-HA08」の「入力レンジ」の上2つを「±10V」に設定する．
* 「NR-ST04」の2あるいは３の使用するチャンネルの入力レンジを  
  「±20000μST」に設定する．
* チャンネル名を適宜変更する

1. サンプリング周期とサンプリング数の設定を行う．  
   (参考までにAG-100kNEだとロードセルのサンプリング周期が10ms)

その他は「次へ」で飛ばして終了する．

1. 「ウィンドウ→数値表示ウィンドウ」で数値表示ウィンドウが出てくるので，「調整モード」で現在の数値を表示させ異常がないか確認する．

Voltageの値とストロークの値を比較して変換倍率に異常がないか確認する．

1. 問題がなければ実験開始と同時に「収集開始」をする．
2. 試験終了後，「Excel出力/CSV保存」から生データを保存，「波形データ保存」から  
   試験データを保存する．